

## 平成30年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

### 1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立多世代交流センター
指定管理者	社会福祉法人ひじり福祉会
指定期間	平成25年（2013年）4月1日から令和5年（2023年）3月31日
施設概要	箕面市立多世代交流センター
市支出額	指定管理委託料・・・34,971,428円

### 2. 事業の実施状況

高齢者福祉機能「松寿荘」事業	高齢者の健康づくりや生きがいつくり
子育て支援機能「おひさま」事業	子育て中の若い世代のサポート
多世代交流に資する事業	高齢者から子どもまで世代を超えたふれあいの場を提供

### 3. 利用者の満足度

#### （1）利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	令和元年7月3日～令和元年8月7日実施 回答数132件 総合的な印象では、「期待以上」を29%、「期待どおり」を67%のかたが選択されており、概ね満足との評価をいただきました。
------------	---

#### （2）利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	令和元年10月30日、6団体に参加いただき、意見交換会を開催しました。駐輪場の混雑状況や備品の管理、おひさまルームの開館日などについてご意見をいただきました。
------------	---

#### （3）利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	<p>○平成29年度にいただいたご意見に対する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規加入者にかかれた同好会活動をめざし、個別の同好会及び利用者協議会全体に対して、常に開かれた公平・公正な同好会であるよう注意喚起を行いました。</li> <li>・おひさまルーム内に、インフルエンザ等の感染罹患時の注意書きを掲示するようにしました。</li> </ul> <p>○平成30年度にいただいたご意見に対する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者も子どもと交流ができるようにしてほしいという要望に答え、センターご利用者に絵本の読み聞かせや紙芝居をしていただいたり、各種イベントなどのお手伝いをしていただき、多世代交流を図るよう努めています。</li> <li>・虫が多いので網戸を設置してほしいとの要望につきましては、網戸は子どもがもたれたり押したりして危ないため、現在は外していますが、子どもに害のない手づくりハーブの虫除けを散布したり、デッキ出入口には吊り下げタイプの虫除けを設置しました。</li> </ul>
-----------	---

### 4. 収支状況

収入計	43,252,901円	支出計	44,008,699円	収支計	△755,798円
-----	-------------	-----	-------------	-----	-----------

## 5. 特別提案の状況

<p><b>地域に開かれた活動の展開</b></p>	<p>毎年、センターまつりや盆踊りではおひさまルームの利用者にも親子で出演していただき、多世代交流を深めるよい機会となっています。また軽音グランプリやウィンターコンサートなど地域に密着した音楽イベントをはじめ、ボランティアによる日常的なミニコンサートや歌声広場など、利用者をはじめ地域の多くの方々に楽しんでいただけるような活動を進めてまいりました。回数を重ねるごとに各イベントとも地域に定着してきたところです。とくに人気の高い「稲ふれあい歌おう会」は54回、「笑いヨガ」は44回、「ヴァイオリンコンサート」は20回を数えました。これからも皆さんの期待に応えて、継続して末永く催していければと考えています。</p> <p>また初の試みとして、「英語を楽しもう」の連続無料講習会を実施し、10月には「千の風」主催の「落語会」開催に協力しました。そして稲ふれあいセンターとして、隣の「ゆずの郷」と一緒に地域の共同清掃を行い、その後地域と施設入居者との交流の場を10月と3月の2度開催しました。</p> <p>センター主催教室としては、「太極拳初心者教室」と「折り紙教室」を開講し、定員を上回る多くの方から申し込みを受けました。今後とも、幅広く魅力ある取り組みを考えてまいります。</p>
<p><b>フリーマーケットの開催</b></p>	<p>利用者協議会の協力を得て、25年度は「るいちゃん基金」への支援、26年度は「東北大震災復興」への支援、27年度は「鬼怒川の水害被災者」支援、28年度は「熊本地震の被災者」支援、29年度は「九州北部の豪雨災害」への支援、30年度は「北海道胆振東部地震」への支援を目的として開催し、毎年好評をいただきしっかりと地域に定着した催しとなってきました。今後も支援を目的として、地域の期待に応えたフリーマーケットを開催してまいりたいと考えています。</p>
<p><b>パン工房の運営</b></p>	<p>諸般の事情により、残念ながら一昨年（2017年）3月末で休業としました。今後の運営再開については引き続き検討をすすめているところです。</p> <p>なお、従来からの障害者事業所による週1回のパン販売に加えて、別の障害者事業所による月1回のパン販売を行っております。</p>

## 6. 指定管理者の自己評価

- ① 入館利用証の磁気カードも定着し、利用者には概ね好評を得ているものと考えています。事務的処理も大幅に効率化され、外部からの問い合わせなどに対しましても利用者の動向把握がより容易に正確に行えるようになっていきます。磁気カードの経年劣化防止と利用者の現状確認のために、現在カード更新をすすめているところです。
- ② 引き続き入館登録者は増加し館内も賑わいを見せています。相変わらずお風呂や駐車場の件でご意見をいただくことが多いのですが、全体としては概ね満足していただいていると考えています。一方、お風呂利用者の増加で風呂の混雑も生じており、時間帯によっては待たなければ入れない状況があります。また入浴者の多様化と高齢化による衛生管理（浴場内での排泄・排便）の問題はいっそう深刻で、さらには入浴方法等を巡る入浴者間のトラブルも起こり、事務室への苦情も後を絶たない状況ですが、何よりも人命にかかわる事故防止が重要と考えています。
- ③ 備品によっては老朽化による入替えの必要性があります。利用者にも人気の高いヘルストロンは毎年1台ずつ更新してきましたが、バイクなどの健康器具の更新も必要になっていきます。ただ不特定多数の方がルール無視で使用する状況があり、機器の故障が絶えないことが問題となっています。
- ④ 駐輪場が慢性的に満杯状態となっており、大きな事故が起きる前に早急に駐輪スペースの拡張が必要で、市からの予算拠出を望みます。
- ⑤ 松寿荘事業につきましては、利用者協議会と常に緊密な連携を取りつつ協力を得て、イベントの実施をすすめてきました。また、ゆずの郷との交流会やその他新規企画にも取り組み、ご利用者には満足していただいていると思います。また、同好会に新規に入会しづらいという声がありましたので、個別の同好会及び利用者協議会全体に対して、常に開かれた公平・公正な同好会であるように注意喚起を行い、理解・協力を得ているところです。さらに、このような同好会のあり方と関連して同好会活動への減免方法についても課題提起を行い、引き続きの重要検討事項としています。
- ⑥ おひさまルームでは、課題であったO才児コーナーには、高さ20cm程のソフトパーテーションやソフトマット、絵本棚、玩具棚を設置し、O才児の親子がより安全に安心して遊べるスペースを確保しました。感染症対策として、「学校感染症と出席停止の基準」を提示し、利用の目安としてもらいました。今後とも安心して楽しく有意義な時間を過ごしていただけるように努めてまいります。

これからもアンケートのご意見や日々のご利用者の声を運営に生かして、スタッフ一同初心を忘れず、笑顔を持って運営に携わっていきたくと考えています。